

残念だった国会バトル

国会と国会周辺が「徴兵制」と「戦争法案」で民主党と野党の皆さんが騒いだおかげで、日本国民はすっかり白けてしまいました。

もっと真面目に「集団的自衛権」「日米安保」「自衛隊の合憲」や「違憲」について、また、「沖縄」の「米軍基地問題」をふくめて議論してもらいたかった、というのが本当のところですよ。しかし、相変わらず日本の野党は責任を持ってない「ごく潰し」ですね。

税金から議員の歳費を払う必要があるのか疑問です。

お金を国に返してもらいたいところですね。社会主義者や共産主義者に国費から給料の支払いをする必要があるのですか。日本は民主主義、自由主義経済の国ですよ。社会主義国家でも共産主義国家でもないのです。

◆世界中で日本に限ってだけ「自国を他国の侵略から護らなくてもよい」のですか？

中国は日本に軍事力をひけらかし「領海侵犯」や「領空侵犯」を繰り返しています。

◆共産党の一方独裁軍事国家中国のやりたい放題はとても酷く、果ては東京都の小笠原、伊豆両諸島沖で212隻の中国漁船による「サンゴ密漁」が問題化した、のをお忘れでしょうか？

◆「憲法9条が戦争を70年間護ってくれた」という野党の皆さんの頭の中は正常ですか、狂っていませんか。

本気で、世界の良識と善意を信頼して、戸締りもせずに村の駐在さん程度の警察力で国民の生命、財産を護れるのでしょうか。

■北方4島はどうなりましたか？

■竹島はどうなりましたか？

■尖閣諸島はどうなっていますか？

★南シナ海は現在どうなっていますか？

★降りかかる火の粉は払わなければなりません。ぼやぼやしていると大火事になって日本は中国の一部になってしまいます。そうなれば、「ウイグル」「チベット」のように民族浄化は間違いありません。

総ての答えは「日米同盟の強化」と日米を中心としたアジアの結束です。世界1の軍事・経済大国のアメリカと世界第3位の日本がスクラムをくんで厄介な中国共産党政府に睨みを利かせないと国際ルールを無視する乱暴者の「中国」に、蹂躪されかねないからです。